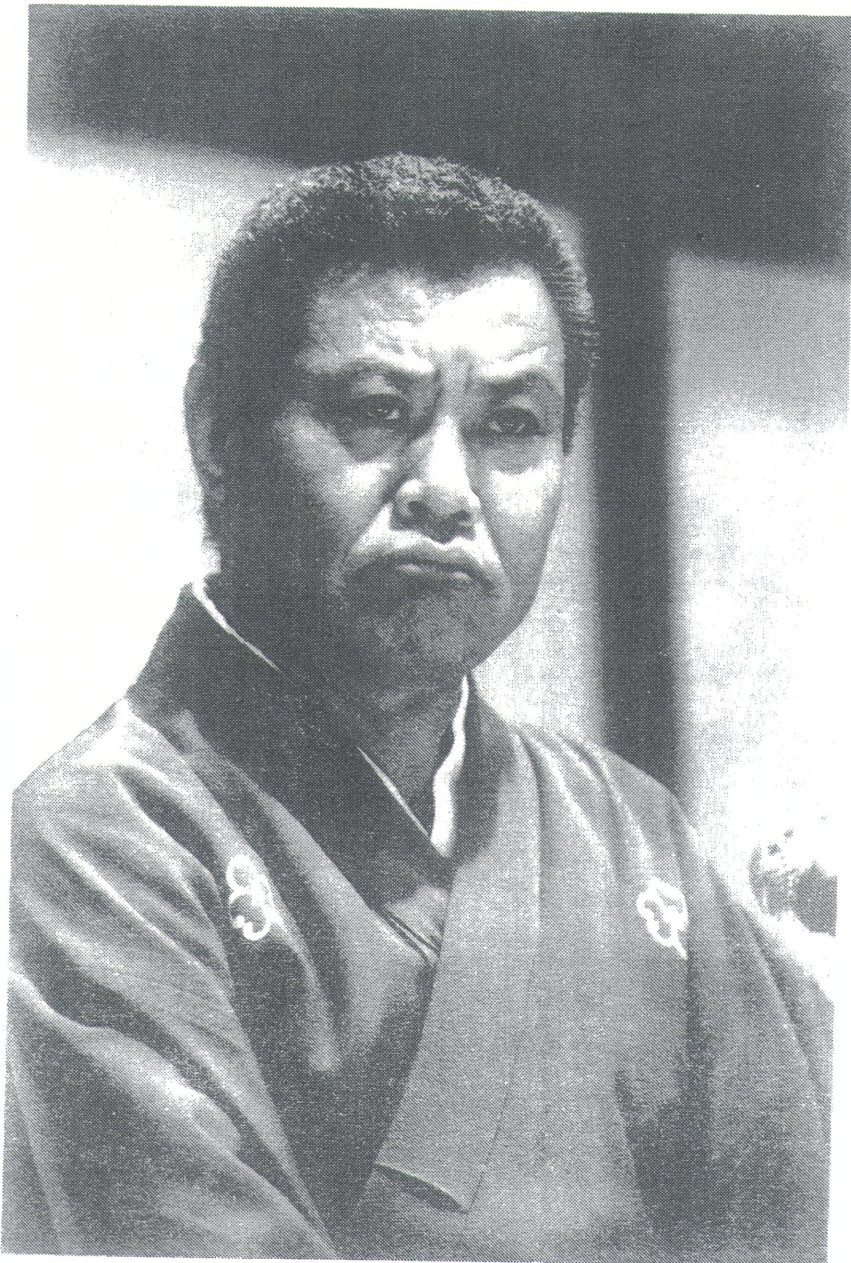


芸豪烈伝その13 玉川福太郎

たまがわ・ふくたろう

豪快、奔放に見える「小心者」の正体は

写真・森 幸一ほか 文・おさだ権五郎



肩で風を切って登場、客席をぎよりと睨みドスが利いた大声で会場を沸かす福太郎。いかつい容貌だが義理に篤く人情味があると築屋うちの評判だ。弟子や曲師を熱心に育成し、浪曲に全身全霊を捧げる愛すべき熱血漢に、現在の心境をうかがおう。

このページの取材では、大体は取材対象者（芸豪）と「サシで」お話を聞

たまがわ・ふくたろう。本名は佐藤忠士。山形県平田町うまれ。19歳で上京、コックの見習いとなる。たまたま聞いた浪曲に魅せられて「破れかぶれ」で玉川勝太郎に入門。昭和50年に福太郎を襲名。同年、同郷の、みね子さんと結婚。二男の父。趣味は将棋、落語、野球。50歳。

くのだが、今回はおおいに違った。

東京・足立区は西新井の福太郎邸では福太郎軍団が待ち構えていたのだ。

一番弟子の福助、二番弟子・お福、三番弟子・こう福、新人で美人独身の曲師・長嶋美穂子さんたちだ。

さつそくビールで乾杯だ。福太郎の奥様で合三味線・みね子夫人が手料理を運んでくると、テーブルの上は多種類の酒と山海の珍味で、いっぱいいた。

酒豪で鳴らす福太郎だ。一門は酒が弱くてはつとまらない。みんなはグイグイ飲んで顔が真っ赤だ。前触れもなく後援会の会長と副会長がやってきて、むろん遠慮なく飲む。場が盛り上がってきて宴会の様相を呈してきた（本当は取材なのに弱ったなあ）。

民謡を歌いだす、浪曲をうなる、手拍子足拍子が出る、泣くものがある、説教をするひとがいる。福太郎の長男（小学6年生、身長160cm、体重78Kg）が帰ってきた、後援会長は年齢のせいかしきりに小用に立つ、あまりのにぎやかさに通行人が家の中をのぞいて行く、酒屋が御用聞きにきた、借金取りが催促に来る、猫にさがりがつく、と大騒ぎ。放歌高吟と杯盤狼藉の中で当方も酩酊状態だが、取材はしよう。

今回は弟子の話から。まず福助さん、福太郎師はどんな方ですか。

「そんなデコボコしないよ。ウイー」わるい酒だな。しっかりしろよ。



西新井の福太郎邸にて。右から、みね子夫人、お福、福太郎、こう福、和服の福助、新人曲師の長嶋美穂子。結束は固く、たくましく華麗で稽古熱心な面々。この時点ではまだ素面だったが……。

「ウイー、ヒック。だって福太郎師匠は顔がふたつも三つもある化け物だ。この家もグルグルまわって変だぞ」
それじゃ落語の「親子酒」だろう。まじめにやれよ。

「師匠は緊張すると、お腹をこわすような繊細さがあります。弟子おもいで、寝言でも私のことを「福助、しっかりしろ」と激励してくれるようで感謝しています。人一倍、口うるさいけど」
お福は「竹を割ったような気性で、すんだことを根にもたない男らしい男です。この師匠について、良かった」
こう福は「さっぱりした人で、私が経営する民謡酒場『玉緒』で出す酢の物のように、味が有り滋味に富んでいる。気配りがありがたい師匠です」
長嶋美穂子は「男前で心が大きい」。

オドオドしている新米の私には、この福太郎師匠の家は居心地がいいです」
後援会長は「こせこせしていない、いい男だ。後援会員は毎年ふえています。福太郎師匠をはやく確立してほしい。『青龍刀権次』の続きはどうなるんだ、5席目以降を早く聞かせろよ」

後援会副会長は「飾らない芸人。勉強家。子煩悩。愛妻家。どうだ、これだけホメりゃ十分だろう」

みね子夫人は「20年以上、一緒にいますから、いまだに……。神経は細やかでウソはつきません。カッコつけない。見栄を張らない、贅沢しないし。口跡が西郷輝彦に似てるでしょ。私は昔から彼のファンなんです。あら、話がそれちゃった。いい人ですよ。そばにいて安心できて楽ですから」
と一段落したところで、お知らせ。

11月12日(日)午後1時より浅草・木馬亭にて「第12回 玉川福太郎独演会」が開催される。福太郎は「青龍刀権次」
と新作「サラリーマン物語(Ⅲ)」を口演する。詳しくは15ページ参照。

それでは福太郎師匠。本日の主役なのに長々と、お待たせしましたね。

まずは性格の自己分析から。
「小心者なんだ。いまだに舞台度胸がないよ。以前はね、チャリ(お笑い)を入れたら先輩に叱られるんじゃないかとハラハラしたりね。いまも入れごと(アドリブ)をいうときはお客さんを傷



「先輩がたが作ってくれた浪曲で、おまんまを食べてきた。オレの代でつぶしちゃ申し訳ないよ。古い演題も残す、新作もどんどんやる。ひとりでも浪曲ファンを増やしたい」

つけないように気をつけるんだけど」
浪曲の今後は。

「古い演題でも現代のセンスで演じれば受け入れられますよ。漫才ブームや民謡ブームが終わって、浪曲ブームが突然きますよ。森進一や五木ひろしがある日、突然スターになったようにね」
浪曲の将来は明るいと。

「浪曲はいまは休火山だけど、また爆発して天下を取る芸だよ。オレは浪曲が好きでね。好きなことやって人生が送れて幸せだよ。道楽者なんだろうね。オレは浪曲界の異端児を自認しているけど、浪曲への情熱は誰にも負けないよ。まあ、敵も多いけど。はっはは」
度量が大きい親分肌。豪快で緻密な芸。21世紀の浪曲界を担う福太郎の使命と責任は重大だ。好漢、お酒をすこし控えて未来に邁進すべし。

浪曲…これほどすばらしい芸は他にはないと思います。

13
52

浪曲家の皆さん…頑張ってください。
多くのファンを楽しませて下さい。

葛飾区・坂本豊吉